

オンリーワン



バリアフリー
ペーパー

10月号

平成24年10月23日発行

偶数月発行

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障害当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。

今年もお祭りと共に本格的な秋と一緒にやってきました、みなさんいかがお過ごしでしょうか。



先日、大変喜ばしい事がありました。この機関紙を協同作成してくれている“西条市障害当事者グループ《オンリーワン》”の皆さんが、ソロプチミスト日本財団の主催する「社会ボランティア賞」を受賞しました！！この賞は、地域社会のニーズに適合した地域密着型のボランティア活動を継続的にを行い、誠実に責任を果たしている人を称える賞です。オンリーワンのみなさんの活動に心からの賞賛を送り、今後もいっそうの活躍を期待したいと思います。（支援センター 武市）

「ラ・スリーズに行ってきました！」

今年6月1日にオープンした、就労継続支援B型事業所・NPO法人石鎚「ラ・スリーズ」へ行ってきました。店の名前ラ・スリーズとはフランス語で「さくらんぼ」の意味だそうです。同じ法人が運営している地域活動支援センター「さくらんぼハウス」から連想した名前です。

喫茶と内職作業を行っているラ・スリーズ。一押しの喫茶メニューは「カレー」で、商店街の人に店の場所を訪ねると『ああ～、カレーが美味しい店じゃね』と答えが返ってくるほど、評判も上々のようです。

今回私は「トーストセット」を注文しましたが、接客の感じもよく、美味しく頂くことができました。



所在地：西条市大町 1630-3

電話：0897-53-5131

喫茶営業時間：午前10時～午後3時

休日：土・日・祝



ここで働いているメンバーはそれぞれ何らかのハンディーを持っています。15人位のメンバーが交代し、その人に合った時間で働いています。働いている皆さんにコメントを頂きました。

「人前で笑顔の対応できるようになった。」

「最初は身体がしんどかったが慣れてきた。調理も出来だして自信がついた。」「料理を覚えて家でも料理をするようになった。」

ここで働いている皆さんは、自分なりに一人前になれるように一歩ずつ踏み出しているように思えました。皆さんこれからも笑顔で頑張ってください。（越智）

当事者の奮闘記 未来への足跡(あしあと)

今回は、当事者の奮闘記番外編として、家族の奮闘記をご紹介します！
重症心身障害児者親の会のお母さんの思いや、活動をご紹介します！

「今している活動や、母として思うこと・感じること」

私たちの子どもは、知的にも身体的にも重い障害を持っています。

重度の心身障害児者は心身両面に様々な機能障害が見られ、成人に達しても精神発達は幼児期に止まることが多く、運動機能も寝たきりまたは座位がとれる程度です。

東予地域に住む重症児の多くは、特別支援学校に通学したり、訪問教育を受けたりしています。卒業後は、地元で、日中の介護や活動の場として、生活介護（デイサービス）を週3回～5回利用しています。

子どもが大きくなるにつれ、吸引や胃ろうの処置が必要となることも多いため、活動の場所が少なくなったり、家族の介護の負担も大きくなっています。



その為、私たち保護者は、思いをひとつにして
3つのことを要望し、活動をしています。



東予地域や西条市に・・・

- 1.重症心身障害児者を中心とした日中活動の場として生活介護の場所が欲しい。
重症の身体障害児者が通える施設が少なく、利用者が集中してしまい、希望した日時に利用できないことがあります。その為、東温市のこども療育センターを利用している人もいます。
- 2.緊急時に利用可能・医療体制が整った短期入所の場所が欲しい。
本人や介護をしている家族にとっても精神的・身体的負担の軽減につながります。
また、安心して利用するために、地域に医療体制が整っている、緊急時にも受け入れができる施設があればと思います。
- 3.在宅医療の充実
病院受診は本人や家族にとっての負担が大きい為、訪問看護やリハビリを多くの人が利用しています。夜間帯に調子が悪くなった時などに24時間対応可能な事業所があればと思います。

親として、子ども達に重度の障害があっても、住み慣れた西条市で心豊かに安心して生活を送るために、医療体制が整っており、生活の質を向上させるための療育ができ、福祉と連携のとれた在宅支援施設や社会参加の場が東予地域にあればこの思いが強くなるばかりです。この思いが届くまで、私たちは活動していきたいと思っています。

【連絡先】 代表者 一柳 小百里 ☎0897-56-7273

今回、西条市でも気軽に集まれる場所が欲しい！と社会参加活動の一環でミュージックケアが開催され、支援センターからも取材させていただきました！！



ふわふわ浮かぶシャボン玉に気持ちもゆったり♪



ふくらんだバルーンの中に入るとみんなニコリ☆

(8.28 ミュージック・ケアの様子を取材して)

重症心身障害児者親の会主催で療法的音楽活動サークル「カノン」を招いて「ミュージック・ケア」が実施されました。

今回は、心身障害のある子ども達とお母さんが集まり、音楽を通じて体を動かすことで心身に心地よい刺激をうけるプログラムが実施されました。四国中央市を拠点に活動している「カノン」の皆さんは、心身のリラックスや生活機能の維持・回復・向上に役立てるための「療法的音楽活動」を行っています。

カノンの皆さんを中心に、お母さんと子どもたちが輪になって、音楽に合わせて体のマッサージをしたり、楽器・ボール・シャボン玉などを使ってコミュニケーションを促進します。緊張していた表情がいつの間にかほぐれて、優しい笑顔が溢れていました。

(支援センター 武市)



西条高校前のだんじり

この写真は、10月16日に撮影したものです。早朝にお旅所を出発した屋台が西条高校正門前(旧西条藩陣屋跡)に集まります。それぞれの屋台がお堀の水面に写り、彫刻や刺しゅう飾りがとても美しい姿を披露しています。

撮影：のぶちゃん



(イラスト しんすけ)

夏の忘れ物



←パソコンで描いたイラスト
美奈子さん作

投稿コーナー「たしっほ」

ら あきあかね
子等の声消えし野に舞う秋茜

美奈子

夏の間は子ども達の声が賑わっていた野原。夏の終わりと共に子ども達の姿が消え、夕日に染まる野原に忘れ去られた帽子と赤とんぼが舞っている風景を詠みました。

編集後記

日増しに秋の風情を感じる様になり、暑かった夏も過ぎました。心地良く涼しい風に、体も軽くなります。黄金色の稲穂に今年も見事に実ったね！と思わず声をかけたくになります。それぞれの努力もいつか実る日を願っています。

(梅野)



※当事者グループオンリーワンのメンバーが講師を担当する「障がい者パソコン講座」の参加者と講師一同。写真の表情に満足感が感じられます。



発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内

TEL : 0898-64-2600 (代) FAX : 0898-64-3920 E-mail : soudan-saijo@galaxy.ocn.ne.jp